

昭和39年度 和歌山県文化賞

かわ ぐち まご た ろう
川 口 孫太郎 (号 軌外)

住 所：東京都新宿区

出 身 地：和歌山県有田郡吉備町

生 年：明治25年

■ 職業

洋画家

◎業績及び経歴

明治45年画家を志し上京、太平洋画会研究所に所属勉強し大正4年日本美術院洋画部習作展に入選する。

大正8年渡仏、パリーその他ヨーロッパに11年間滞在画風を学び昭和4年帰朝する。

帰朝後二科会に出品、二科賞をうけ会友となる。同時に和歌山商品陳列所で帰朝作品展を開く。

昭和5年独立美術会創立されるや会員となり、11年間所属、戦時中独立美術協会を退き、和歌山で疎開生活を送る、戦後東京に帰り、国画会々員となる。

近年抽象的な作品を進め、新しい幻想表現に向って研究し、現在日本洋画壇の巨匠として不動の地位を築いた。

氏はまた毎年帰郷し、和歌山県美術界のため後進の指導にあたり、故森有材等多くの新進画家を中央画壇に進出させた。また、県立美術館建設に際し貴重な作品を寄贈したり、昭和38年7月県立美術館で、川口軌外展が開催される等県民に多大の感銘を与えている。

K.KAWAGUCHI、独立美術川口軌外特集、川口軌外画集等の著作もある。